

# 大腸内視鏡検査を受けられる方へ

さわぐちクリニック

患者氏名 \_\_\_\_\_ さん の検査は以下のとおりです。

検査予定日 : \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) です。

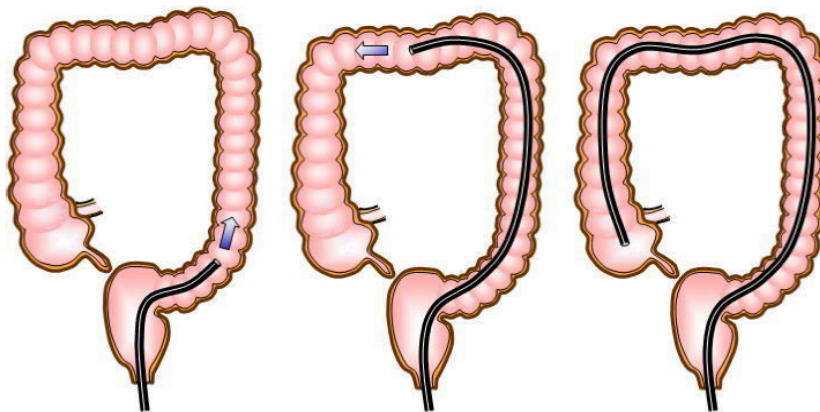
☆ 当日は検査の進み具合により **お待たせすることがあります** のでご了承ください。  
検査後に予定を入れる際は、**時間に余裕を** みておくことをお勧めします。

## ■ 検査について



この検査は、肛門から内視鏡を挿入して大腸の中を内側から直接観察して、大腸の病気（炎症・ポリープ・潰瘍・腫瘍など）、その他を診断する検査です。

検査前の準備として、検査前日に検査食を摂取 します。就寝前には液体と錠剤の下剤をそれぞれ服用 します。検査当日は朝から約2Lの下剤を服用 して検査に臨みます（詳細は裏面をお読みください）。

検査は おおむね 20～30 分程度で終了 しますが、お腹の手術、婦人科の手術、泌尿器科の手術を経験されている方は、手術の影響で癒着（手術の傷が治る過程で腸が固着してしなやかさが無い状態）していることがあるため、検査の所要時間が長引くことがあります。



- ・左図：長さ約1.3mの内視鏡を肛門から挿入します。
- ・中央図：奥に向かって内視鏡を進めていきます。
- ・右図：大腸の一番奥（小腸と大腸の境目）まで到達したら挿入終了です。  
腸のねじれがないまっすぐな状態では内視鏡は“7”の字となります。  
腸の中を観察しながら内視鏡を抜いてきます。

<p>検査2日前 月 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きのこ類・海藻類・繊維の多い野菜(ごぼう・ネギ・トウモロコシ等)・種の多い果物や野菜(イチゴ・ブドウ・トマト等)・こんにゃく・ゴマなどは避けてください(腸に残りやすく、検査の妨げになるためです)。</li> <li>・水分は多めにとってください。</li> </ul>	
<p>検査前日 月 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入いただいた検査食を食べてください。または、具なしうどんやおかゆにしてください。</li> <li>・おやつはプリン、ゼリー、クラッカー等にしてください。</li> <li>・水・お茶・スポーツドリンク等、水分は多めにとってください。</li> <li>・牛乳・乳製品・お酒はとらないようにしてください。</li> </ul>	
	朝食	朝食用検査食を食べてください。
	昼食	昼食用検査食を食べてください。
	夕食	夕食用検査食を <b>午後7時まで</b> に食べてください。 <b>これ以降は絶食</b> ですが、水分・内服は可能です。
	午後9時	 <p>シラック内用液1本をコップ1杯の水に混ぜたものとセンノシド2錠を服用します。</p>
<p>検査当日 月 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝から検査終了まで <b>絶食</b> です。水分は可です。</li> <li>・<b>糖尿病薬は服用しない</b> てください。それ以外のお薬は服用可です。</li> <li>・<b>インスリン注射も打たない</b> てください。</li> <li>・水またはお茶500mlほどをご持参ください(検査前の脱水予防のため)。</li> </ul>	
	<p>腸管洗浄開始</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記下剤(マグコロールP100g:等張液)を1800ml飲みます。</li> <li>・<b>1時間半～2時間かけて</b> ゆっくり飲み切ります。</li> <li>・飲み切っていないときに排便が始まっても、全部飲みましょう。</li> <li>・腸の動きを良くするため、屋内を歩き回しましょう。</li> <li>・便が無色～黄色の水様便になったら準備完了です。</li> </ul>
<p>注意 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱時や体調のすぐれない方は、検査の延期をお勧めします。</li> <li>・下着を汚すことがあるため、心配な方は着替えをご用意ください。</li> <li>・ご高齢の方は検査による影響が大きいことがあるため、付き添いの方と一緒に来院されることをお勧めします。</li> </ul> <p>* 以下の方はご連絡ください (さわぐちクリニック TEL 0182-23-7830)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前日の下剤で腹痛が強くなったとき。</li> <li>・下剤服用中に吐き気や嘔吐など気分が悪くなったとき。</li> <li>・検査時間が近づいているが、下剤を飲みきれないとき。</li> </ul>	